

令和5年度学校経営方針

育成を目指す生徒像

「これからの社会に必要とされる生徒」

■学校教育目標

- (1) 変化に対応し、新しい価値を見いだせる人を育む
- (2) 地域を思い、未来を創造できる人を育む
- (3) 自他を尊び、共生できる人を育む

■スクール・ミッション

- (1) 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- (2) 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒の育成
- (3) 探究的な学習やキャリア教育を推進し、持続可能な未来社会の創り手となる生徒の育成

■3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針
自分を知り、学ぶとすることができる「自己開示力」、疑問を持ち、課題を見いだすことができる「課題発見力」、先を見通して、物事を進めることができる「段取り力」、要点をつかみ、多面的多角的に考えることができる「思考力」、状況に応じて、わかりやすく伝えることができる「発信力」の育成を図る。
○教育課程の編成及び実施に関する方針
(1)新学習指導要領に則り、育成を目指す資質・能力等を念頭に、生徒の能力・適性・目標等を十分に配慮して編成する。 (2)自己の在り方・生き方を考え、自ら課題発見、解決できるようキャリア教育との関連を図りながら、探究的な学習を推進する。
○入学者の受入れに関する方針
基礎的な学力を有し、進路目標や地域の課題の解決に向かって主体的・協働的に学習を深めるとともに、部活動や生徒会活動、学校行事に積極的に取り組み、探究的に物事に取り組む姿勢のある生徒を求める。

■指導上の重点事項

年次・分掌間の「連携強化」

重 点 標	(1)主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、「確かな学力」を育成する。 (2)持続可能な未来社会の創り手の育成に向け、探究的な学習、キャリア教育を推進する。 (3)体験的学習や生徒会活動、部活動、ボランティア活動等を通して広く社会を知り、人間性や社会性、自己有用感を育む。
学 習 指 導	(1)「授業」を大切に、積極的にICTの活用を図りながら、生徒個々の基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養を図る。 (2)「育成を目指す資質・能力」の育成に向け、新学習指導要領に則った授業改善を進める。 (3)「指導と評価の一体化」を図り、学習評価の充実を進める。 (4)言語活動や他者との協働など、各教科において探究的な活動の充実を図る。 (5)家庭との連携を図り、端末等も有効に活用しながら生徒の学習習慣の確立を図る。
生 徒 指 導	(1)基本的生活習慣の確立と自己指導能力の育成に取り組む。 (2)有意義で充実した高校生活の実現を目指し、生徒の自主的活動を支援する。 (3)言語活動の充実を図り、家庭や地域等と連携して、望ましい人間関係の構築と「豊かな心」の育成を進める。 (4)いじめや問題行動等の未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、カウンセリングマインドをベースとした機を逃さない指導を進める。 (5)不審者等への適切な対応の徹底を図るとともに、情報モラルやリテラシーの育成を図り、SNS等の良好な活用を進める。
進 路 指 導	(1)生徒の自己理解をベースとしたキャリア形成を進め、自己実現に向けた主体的な進路設計や進路目標設定に早期から取り組ませる。 (2)家庭や地域、産業界等と連携した体系的なキャリア教育を進め、望ましい勤労観や職業観を育む。 (3)年次・教科・分掌間の連携を深め、成果につながる組織的・計画的な進路指導を強化する。 (4)最新情報の収集と効果的な活用・周知により、生徒・保護者の理解を高め、生徒個々の目標実現へ繋げる。 (5)講習・模試・ICT学習支援等の活用等の改善、充実を進め、効果的な進路指導を推進する。
健 康 ・ 安 全 指 導	(1)自他の生命を尊重し、健全な心身を育む態度を養う。 (2)生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する。 (3)防災教育の充実を進め、危機管理意識の向上と安心安全な学校生活を確立する。 (4)保健委員会等の委員会活動の自発的・積極的な取組を支援する。 (5)日常の清掃やボランティア活動を通し、学校や地域の美化や環境保全の意識を養う。 (6)その他、現代的な諸課題に対して適切に対応できるよう取組を進める。

